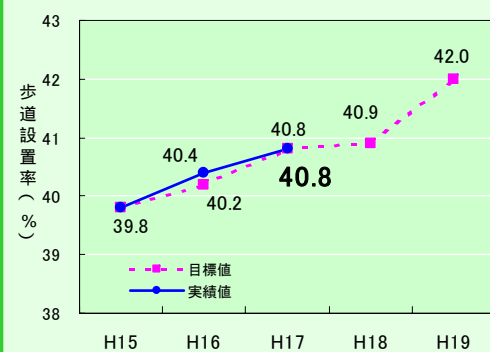


# ◎安全・快適な歩行空間の整備

## アウトカム指標：歩道設置率

歩行者にやさしい道路空間整備を示す指標

指標  
解説 [歩道設置率=歩道設置延長/全道路延長(県道以上)]  
県道以上の総延長に対する歩道設置延長の割合



### 歩道整備の状況

歩道設置率は全体で約4割程度であり、直轄国道では市街地及び通学路として利用されている区間のうち約9割で歩道が設置されています

### 平成17年度の目標達成状況

国道2号宇部市木田や国道2号岩国市多田での歩道整備や、新規供用路線に伴う歩道設置により、平成17年度の歩道設置率は40.8%となり目標を達成しました。



現状と達成度報告

### 効果的な歩道整備の推進

岩国市周辺や山陽小野田市、下関市等では、未だ市街地歩道が設置されていない区間が残っています。今後も、引き続き市街地や通学路等の歩道整備の必要性の高い区間を中心に効果的な歩道整備を進め、平成18年度は歩道設置率40.9%を目指します。

#### ①代表整備箇所「国道2号(宇部市瓜生野)」

通学路でありながら歩道が整備されておらず危険な状況のため、自転車歩行車道の整備を進めています。



出典:国土交通省 山口河川 国道事務所資料

#### ②代表整備箇所「県道山口阿知須宇部線(山口市阿知須浜区~宇部市東岐波)」

山口市阿知須地区の中心市街地で、駅、郵便局、病院、学校、養護施設等があり、多くの市民が利用していますが、歩道が未整備で、歩行者と一般車両が輻輳し、非常に危険なため、安心・安全に歩行できるように歩道の整備を進めています。



#### ③代表整備箇所「県道光玖珂線(岩国市周東町千束)」

通学する児童・生徒と通勤車両等が交錯し危険なため、安心・安全に通学できるように歩道の整備を進めています。



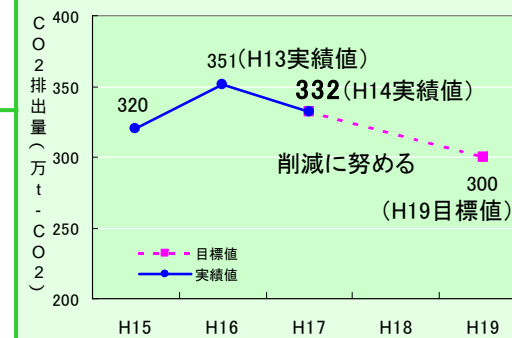
業績計画

# ◎CO<sub>2</sub>の削減

## アウトカム指標：CO<sub>2</sub>排出量（自動車交通）

環境に配慮した道路整備を示す指標

指標  
解説 山口県内の道路交通に関する年間の燃料消費により算出したCO<sub>2</sub>の排出量  
※平成14年度値(最新公表データ)

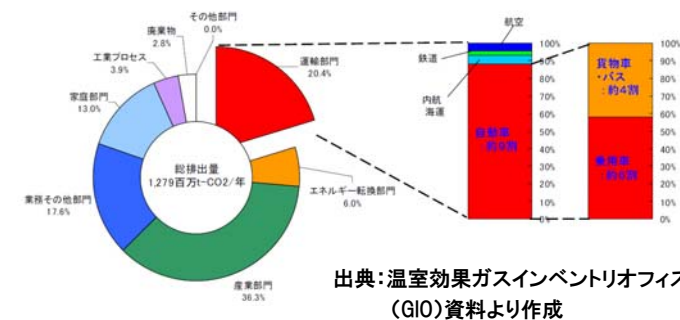


### 自動車から多く排出されるCO<sub>2</sub>

日本のCO<sub>2</sub>総排出量の9割はエネルギー消費によるもので、運輸部門のCO<sub>2</sub>排出量はそのうちの20%を占めています。

また、運輸部門の約9割が自動車交通から排出されるCO<sub>2</sub>であり、その半分以上が乗用車から排出されています。

乗用車から排出されるCO<sub>2</sub>は、速度が低下した時に多く排出されるため、渋滞対策によりCO<sub>2</sub>排出の削減を目指しています。

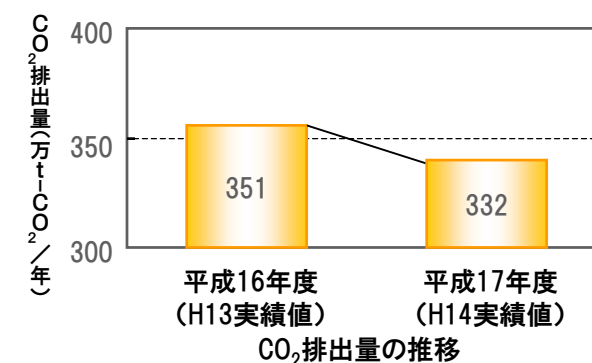


出典:温室効果ガスインベントリオフィス (GIO)資料より作成

CO<sub>2</sub>排出量の内訳(2004年度)

### 平成17年度の目標達成状況

CO<sub>2</sub>排出量は351万t-CO<sub>2</sub>(平成13年度値)から332万t-CO<sub>2</sub>(平成14年度値最新公表データ)となり、19万t-CO<sub>2</sub>低減しました。



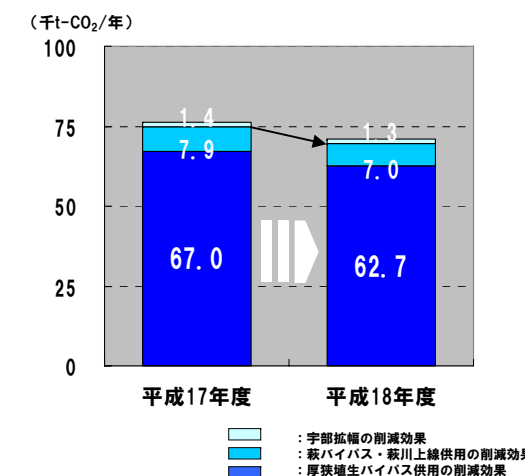
現状と達成度報告

### 平成18年度に期待されるCO<sub>2</sub>削減効果

平成18年度も引き続きCO<sub>2</sub>排出量削減を目的に、主要なCO<sub>2</sub>の排出要因である都市部の渋滞緩和に向けて、「国道2号厚狭・埴生バイパス」の供用など、道路ネットワークの整備を推進していきます。

#### ■ H18年度供用事業により約5.4千t-CO<sub>2</sub>/年のCO<sub>2</sub>削減効果を見込んでいます。

国道2号厚狭・埴生バイパス2.7km部分供用により、約4300t-CO<sub>2</sub>/年の排出量削減が期待されます。  
国道262号萩バイパス及び県道萩川上線の供用により、約900t-CO<sub>2</sub>/年の排出量削減が期待されます。  
国道490号宇部拡幅1.0km部分供用により、約100t-CO<sub>2</sub>/年の排出量削減が期待されます。



期待されるCO<sub>2</sub>排出量の削減効果

業績計画